

4 都市基盤

まちづくりの目標

住みたい、住み続けたいまち

○街路新設改良事業

【新規】 7億9,099万円

都市計画決定された街路（道路）の改良を行い、市民生活の利便性向上を図ります。令和2年度は樋渡東西線アプローチ部工事の継続費最終年度となります。

○銭淵公園整備事業

【新規】 7,200万円

銭淵公園の利便性向上のため、駐車場の拡張とトイレの改築を進めます。



喜平次と与六像（銭淵公園）

○市営住宅総合改善事業

【新規】 800万円

公営住宅長寿命化計画について、「改善中心」から「継続管理・用途

廃止中心」に方針転換を図り、計画の見直しを行います。（計画期間は令和2年度（令和21年度））

5 産業振興

まちづくりの目標

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

○森林整備促進事業費

【新規】 880万円

森林整備の促進や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進、普及啓発活動などにより、林業振興を図ります。令和2年度は、森林GISシステムの改修などを行います。



利用間伐

○観光振興事業費

【拡充】 1億239万円

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、地域再生計画制度活用によるインバウンド観光誘客と受け入れ態勢の整備を進めます。また、異常少雪対策事業として、観光業活動費に対して支援を行います。

6 行財政改革・市民参画

まちづくりの目標

世界にひらく市民が誇りをもてるまち

○マイナンバーカード交付事業

【拡充】 2,122万円

マイナンバーカードの開始（令和2年9月予定）とマイナンバーカードの保険証利用（令和3年3月予定）に向けて、マイナンバーカードの交付率を引き上げるため、受付体制の強化を図ります。

○地域コミュニティ活性化事業

【拡充】 9,956万円

市内12地区の地域づくり協議会のコミュニティ活動を支援します。また、中越大震災地域復興支援事業を活用した基金設置による、持続可能な地域づくり活動への支援を行います。

社会教育事業（旧公民館分館事業）の推進と取り組みの拡大を図ります。

○雪資源活用事業

【拡充】 4,000万円

東京2020オリンピック・パラリンピックにおける熱中症対策の取り組みを通して、雪資源活用による環境に優しいエネルギーと南魚沼の魅力発信を目標とした、PRプロジェクトを行います。



配布するスノーパック

○緊急時情報伝達事業

【拡充】 2,166万円

緊急告知ラジオやメール配信システムを活用し、緊急時における市民への情報伝達体制を整備します。

令和2年度は、全国瞬時警報システム（J・A・L・E・R・T）とソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）の連携システムの効果的な運用を進め、情報配信システムのさらなる普及と利用拡大を図ります。また、緊急告知ラジオの購入に要配慮世帯を重点とした助成制度を設けます。